

日商PC検定試験

データ活用分野 1級試験問題

(平成18年9月30日施行)

答案は、マイドキュメント(データをダウンロードする際にダウンロード先を変更した場合は変更先のフォルダ)の「日商上級試験」フォルダにある答案用紙「答案.doc」に作成し、上書き保存すること。(答案用紙以外に保存した答案は採点対象外となります。)

知識科目の2題については答案用紙の1枚目に記入し、実技科目は2枚目から作成しなさい。なお、答案用紙の1枚目に氏名、生年月日を記入すること。

試験時間は知識科目、実技科目あわせて90分です。(科目毎の時間の区切りはありません。)

問題1 (知識科目)

仕事を大きく変えるデジタル5大パワーのひとつ「コスト対応力」について、250～350字で具体的に説明しなさい。なお、答案は、答案用紙の1枚目に記入すること。

問題2 (知識科目)

レーダーチャートについて、具体的な活用例を挙げて400字以内で説明しなさい。なお、答案は、答案用紙の1枚目に記入すること。

問題3 (実技科目)

あなたは、製パン業界大手で、全国に販売を展開している、日商パン食品工業株式会社に勤めています。製パン業界においても、他の業界同様、企業経営を取り巻く環境が年々厳しさを増してきました。ここにきてようやく景気回復の兆しが見えてきたものの、世界的な原油価格の高騰や金利動向の先高感によって、当面の間、厳しい経営環境が続くものと予想されます。

また、ライバル企業の動向にもさまざまな変化があり、業界内での競争の度合いも依然として厳しい状況が続いています。加えて、消費者の嗜好の変化のサイクルも、以前以上に短くなっており、各社それぞれ工夫を凝らして、さまざまな新製品を市場に投入しようとしています。製パン業界内での競争のみならず、それ以外の業界においても、潜在的に競合となりうる製パンが続々と市場に投入されていると言っても過言ではない状況です。その結果、従来にも増して、自社製品の販売動向についてきめ細かく把握しておくことが

求められています。

こうした中、社長から、全社的な販売動向と今後の課題について分析し、レポートするよう指示を受けました。「売上実績データ（4-6 月）.xls」を用いて、社長に提出するためのレポートを答案用紙に作成してください。その際のレポートの様式ですが、A 4 用紙に 2、3 枚程度で、要点を簡潔に記述することが求められています。また、状況を分かりやすく把握できるようなグラフを適宜挿入することが、あなたの会社では通例となっています。なお、レポート（答案）は、答案用紙の 2 枚目から作成すること。